

## 第3回薬師・金井地区中学校新たな学校づくり基本計画検討会 議事録

開催日時	2026年2月16日（月） 14:30～15:55	
開催場所	薬師中学校 1階学習室	
出席者 (敬称略)	委員	高見澤委員、高木委員、松成委員、末吉委員、大和田委員、堀切委員、高橋（倫）委員、高橋（圭）委員、大石委員、佐野委員、◎矢島委員、○松岡委員、田中委員 (◎：会長、○：副会長)
	事務局	教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、指導課、教育センター
傍聴者	0名	

### 議事内容（敬称略）

はじめに 学校教育部長

学校教育部長 薬師・金井地区は2025年10月に検討会を立ち上げ、本日を含め合計で3回の検討をした。通学の考え方や施設整備に関すること、中学校ならではの検討課題、標準服や部活動の検討を開始することができた。

2026年度以降も引き続き、新しい校舎で子どもたちが教育を受けられるようになるまで、薬師・金井地区基本計画検討会で、皆様と学校統合に向けた進捗状況や検討をしていき、必要な意見交換を行わせて欲しいと考えている。

#### 1 第2回基本計画検討会の振り返りについて

新たな学校推進課 （資料1説明）

#### 2 薬師中学校・金井中学校の統合に向けた生徒への配慮について

新たな学校推進課 （資料2説明）

委員 生徒同士の事前交流の部分で、金井中学校の生徒に防災訓練や盆踊り大会の手伝いをしてもらっている。そのような取り組みに、薬師中学校の生徒も一緒にできたら良いなど考えているので、両校の交流として活用して欲しい。

新たな学校推進課 こちらについて、防災課等関連する部署と連携しながら、両校の生徒同士の交流の調整を図っていく。

委員 3つ目の学習内容について、心配なため相談したい。先生によってはテストの問題の出し方や傾向、癖等があると思う。事前にその先生がどのような問題を出しているか情報を開示して欲しい。統合した際に、今まで教わってきた先生のテストを受けるのと、初めて来た先生のテストを受けるのでは、子どもたちの心理面の負担が大きいと思う。

実際に今年、薬師中学校は副教科の先生が4名替わり、4人の先生のテストを初めて受ける際に1学期の期末テストはプレッシャーを感じており、心配な部分を抱え、テストを受けていた。学校統合の際に学年の先生のバランスをある程度考慮し

て欲しい。それぞれ金井中学校の生徒も薬師中学校の生徒も、自分たちが知っている先生を平等に配置してもらえると、多少の不安軽減、精神面の負担が和らぐと思う。

新たな学校推進課 教員の配置は生徒の心理的な負担軽減についても含めて、指導課や学校と相談しながら決めていきたい。

### 3 薬師中学校・金井中学校の統合に向けた部活動の取組みについて

指導課 (資料3説明)

委員 部活動が無い学校は、部活動がある学校に出向いて統合前に部活をするということだが、部活動の入部に当たり、新年度の初めに部活動説明会があると思う。部活動が無い学校にも部活動説明会をしてくれるのか。例えば、金井中学校に薬師中学校のバレーボール部が出向いて説明会をやってくれるのか。それとも入部可能という説明で済ませるのか。個人的には、どちらの学校にも出向いて説明して欲しいと思う。

指導課 実際の対応策について、どのように部活動の説明をするか、両校の校長先生と協議していく。

### 4 薬師・金井地区の新たな中学校の施設整備について

新たな学校推進課 (資料4説明)

委員 施設整備コンセプトについて、障がい者への配慮を文章に入れてはどうか。トイシや色々な施設の面で一般の利用者も使うと思う。また、高齢化してくると学校利用者の中には車椅子を使う人もいると思う。

また、「地域性を生かした学校づくり」では、金井地区には色々な伝統芸能があるので、継承していけるような学校づくりもして欲しい。

新たな学校推進課 障がい者への配慮について、基本設計をする中で、福祉のまちづくり条例があり、町田市としても施設を造る際に必要な条件になってくるので、バリアフリーの視点は入れていきたい。

委員 テニスコートの位置が気になる。テニスをやると音が出る。その音がどこかに反響するか。先に考えておいたほうが良いと思う。意外と遠くに響いたりする。

新たな学校推進課 そういった音の問題も踏まえて基本設計等を作成していく。

### 5 薬師・金井地区の新たな中学校における教育目標案について

委員 1つ目、自立と自律の双方を両立できる生徒になってほしい。

2つ目、統合による葛藤やデメリットを感じなくなるように、教師も生徒も1つの学校になるような努力が必要。

委員 国際的な視点を持つ大人に育つといった文言が入るといいと思った。

委員 自立・自律はすごく大事だと思った。

委員 自立・自律はとても大切と思った。今はAIや、色々な物の進歩が目覚ましく、ホ

ホワイトカラーの職業はほとんどなくなるかもしれないと言われている。その中で、誰かに決められるのではなく、自ら問いを立て、探求し続ける力は、これから生きていく力として非常に大切になってくると考えている。そういった力が育めるような学校であるといいと思う。2つの学校が1つになるということもそうだが、非常に多様な価値観がこれから先も出てくると思うので、多様な価値観を認め合いながら、新しい価値を仲間と地域とも共につくり上げていくようなコ・クリエーション、共同創造に対して互いの意見を認め合いつつも自分の意見を伝えられる、というスキルがいいと思う。

コミュニティスクールという考えが町田市で取り扱われているが、とても素晴らしいと思っている。そのような形に開ける、そういう力が育まれる学校だと思っている。

委員

目指す生徒像として、多くの情報にあふれた世の中で、情報に流されず、自らの頭で考え、それを言語化できる能力を持ち、その上で物事を判断していく力を備えた人になってほしいと思う。今は安易に情報を得られ、自分の頭で考え抜いて言葉を紡ぐということが少なくなってきたと思う。言葉は、深く考えることに繋がり、考える力を育むためにも、言葉をしっかりと使える生徒たちになってほしい。

また、自らの意見をまとめて話す機会や、人の意見を聞き、自分の意見との相違点を考える機会を意図的に持たせ、子どもたちが自分の言葉を用いて考える習慣を身につけられるように教育していくことが必要だと思う。そのためには、基礎的な言葉の能力をいかに高めていくか、学校と家庭が共に取り組んでいくべきだと思う。

あとは、地域に住んでいる方々の力が学校教育に生かしていると思っているので、学校統合してからも地域の力を生かし、学校づくりをしていってほしいと願っている。

委員

私は優しい人になって欲しい。優しさとは強さであると思っている。幾ら勉強ができれば、スポーツができれば、優しくなければいけない。その優しさを育むために勉強する。例えば、外国の人の気持ちを分かり、優しく接するために語学を勉強する。そういうことを思っている。

委員

まず、地域の力は大きく、地域を大事にする人材であってほしい。また、中学生は色々な子がいる。できる子、できない子。その中で、自分の何かに自信を持って自己開示・自己解放できる、そういう生徒になってほしい、そういう大人になってほしいと思っている。

委員

指示を待つのではなく自分で考えて行動する力を身につけてほしいと思う。また、視野を広く持ち、臨機応変に対応できる人間になってほしいと思っている。

委員

継承、共創、躍進という3つの言葉を考えた。継承は、地域と共に歩み、育まれてきた両校の歴史と伝統を受け継いでほしい。共創は、多様な他者と対話し、協働しながら、平和でよりよい社会を共につくってほしい。躍進は、志を抱き、自ら学び挑戦し、未来へ力強く歩み続けてほしいといった思いがある。

理由として、新設校になると、長年地域に支えられながら歩んできた2校の学校

統合により誕生する新しい中学校になる。これまで築かれてきた教育の歩みと地域との絆を大切に継承し、新たな出会いと多様性を力に変えながら共創し、未来を担う生徒が志高く躍進する学校を目指してほしいと願っている。穏やかな住宅地に位置し、地域の方々に育てられてきた環境の中で、平和を尊び社会を支える人材を育成することを使命として欲しいと願いを込めている。

委員 私は、自他共栄という言葉が思い浮かんだ。中学生のため、まだ十数年しか生きていない子どもたちで、学校が統合し、新しい仲間と一緒にになり、学校以外の仲間や家の周りに住んでいる人たち、社会に出てからの仲間等の人間関係があり、その中で私が大事に思いたいのは、自分で自分が大事であるように、あなたも大事という意識を持ってほしいと思う。共に貢献しながら、共に責任を持ちながら、共に希望を持ちながら理解しながら、お互いが栄えられるように成長してほしい。

委員 自分の体が資本、健康第一に体をつくってほしいと思う。また、地域を大切に子どもたちに育ててほしい。日本の思いやり精神や、そういうものを持った子どもに育ててほしい。

委員 今、情報があふれる中、自ら学んで、考えて、行動できる大人になってほしい。そして、自他の違いを尊重し、思いやりのある大人になってほしいと思う。地域が色々なイベントをしているが、人間として、学業だけでなく、地域も大事にして欲しい。

委員 教育目標についてだけ言えば、知育・徳育・体育の部分で1つずつ目標があったほうがいいと思う。生徒像は、信頼・感謝・団結を私は考えた。

## 6 薬師中学校・金井中学校の歴史の継承について

新たな学校推進課 (資料6説明)

委員 VRツアーとても良いと思う。それで、学校の校庭や校舎内は撮影すると思うが、もしできるならば学校の周辺も撮れないか。学校の近くにこの坂があったなとか、この公園で集まったなとか。そんなところもできれば撮影して欲しい。昔の鶴川小学校は、特徴的な107段の階段があって、それをいまだに卒業生たちはみんな言う。そういうことから、周辺に特徴的なところがあれば撮影して欲しい。

薬師中学校は校舎に下りる坂等、結構思い出としては深いと思う。

新たな学校推進課 上空からドローンで撮影すれば学校の近辺は見えるが、具体的に撮影したい場所等の撮影については事務局でも考えていきたい。また、1つアイデアとして「思い出フォトアルバム」に残すことができる。

委員 映像で残すことは決まりか。

新たな学校推進課 今回は事務局の案・考えを示したうえで委員の皆さまからご意見をいただきたいと考えていた。現物でこれは残したいというものがあれば、資料で明示している4つの視点を踏まえて検討したいと考えている。

委員 映像で残すことは良いと思う。物品で気になるのが、金井中学校の校歌を作曲した小林研一郎先生のサイン入りの色紙は、せっかくそれなりの先生が自筆のサインがある。映像や画像で残すから処分するのかどうか。著名な先生が学校に寄贈して

いるので、残せると良い。

新たな学校推進課 各物品についてはすぐに処分するというだけでなく、例えば寄贈いただいた方に連絡を取ってご相談するといったことも必要だと考えている。

ご指摘の小林研一郎先生のサイン色紙についても同様に、引き続き保存方法等の検討を行っていく。

7 薬師・金井地区の新たな中学校の学校名について

新たな学校推進課 (資料7説明)

( ワークショップ )

次回開催予定 第4回基本計画検討会

2026年5月頃を想定 (※決まり次第連絡する。)